



高祖父・渋沢栄一の講演記録で

ある『論語と算盤』は、震災後に何度も読み返した1冊です。なかでも響いてきたのが、「心のスイッチ」という言葉。本の一部を解釈し、僕が書き留めておいた言葉なのですが、震災後、薄暗い地下鉄のホームに立った時、「節電はしても、心のスイッチはオンに」と、強く思いました。

被災地では、コンビニが素早い判断でおにぎりを提供していましたが、これも現場の人々の心のスイッチをオンにした成果でしょう。こうした民間力は、復興の大きな力になっています。実は、この本のベースにあるのは、「国力を高めるには、政治や軍事ではなく民間力である」という栄一の思想です。民間力が必要とされている今、なるほどと納得させられます。

講演やブログで多くの人に伝えるため、100回近くは読み、おかげで高祖父に会えた気分です。これも大きな収穫でしょうか(笑)。

## 澁澤健

コモンズ投信取締役会長

## 論語と算盤

渋沢栄一

Ken Shibusawa

1961年東京都生まれ。8歳で父親の転勤により渡米。アメリカの教育を受け、UCLAにてMBA。複数の外資系金融で活躍後、'01年独立。日本における個人投資に尽力。